

人権温泉

今日は人権温泉にお集まりいただきありがとうございます。

人権温泉は、心を裸にする温泉で、皆様の心をつるんつるんにする所です。

さて、自己紹介から始めましょう。私、東かがわ市隣保館館長のパートナー昌幸です。

日本人と日本人のハーフです。奥と書いてパートナーと読みます。珍しい名字でしょ。

東かがわ市男女共同参画社会の「その表現正しいですか？」の表記の中に、「奥さん・家内は、妻、つれあい・配偶者・パートナー」と書いてました。奥だからパートナー、つかみは OK ですか？



同和問題、特に結婚問題において、当人同士が好きで結婚したいという話を皆さんの息子さんや娘さんから聞かされた場合、あなたはどのような対応をしますか。

それが、息子・娘でなく孫だった場合はどうでしょう。

家族の問題です。一番身近な存在で支えてあげたいという考え方が多いといいな。

他方で、家族に次ぐ身内として親戚があります。あなたの兄弟や、親の兄弟です。人にもよりますが、家族より普段接する時間は短いと思います。その次の存在、それが「世間」です。

「世間」とは、インターネットで検索すると、1. 世の中。社会。「例）世間が許さない」、2. 自分の活動・交際の範囲。「例）世間が広い」と出てきました。

「世間」とは何でしょう。「世間」には「からだ」引っ付く場合があります。

「世間体」。これが曲者です。

またまた、インターネットで検索すると「世間の人に対する対面・体裁」「例）世間体が悪い」と出てきます。

世間に体が付くとどこへでも行くことができ、しかも世間体は見つけにくいという特徴があります。

「世間体」は、「らしいで」と根拠のない不確実な情報をばら撒き、「知らんけど」といった無責任な言葉を投げかけます。

「世間体」は身近にいますがあなたに何もしてくれません。責任もとってくれません。「世間体」は自分のことしか考えていません。

「世間体」に取り憑かれて自分の考えを無くしていませんか。大事なものを失っていませんか。

最終的な意思決定や判断はあなた自身が行います。小さな勇気と小さな実践。

差別はいけないと分かっているけど、止めるといった行動に移すのは、最初はとても勇気のいることです。慣れるに従って最初ほどの勇気は必要なくなりますよ。

同和問題の結婚の話に戻りますが、家族は支援しても、世間が...という話や考え方があります。「裸の王様」になる前に、あなたとあなたの家族を取り戻しましょう。

最後に

私達は差別をする者です。だから少しでも学んで、知識を身に付けて、差別をしない、止めるようにする必要があります。

差別はしない方がいいです。身近な人を傷つけるから。差別は止めた方がいいです。身近な人が傷ついているから。

今から「正義の意志を貫いてください。」

館長